

「車よい」に関する調査（第二報告）

— 特に症状の分類及びその発来時間 —

置田 幸子

（昭和女子大学児童教育研究所）

さきに、わたくしは児童生徒学生などの「車よい」の頻度及び初発年齢について報告した。今回は（A）症状の分類、（B）その発来時間、（C）本人と両親兄弟姉妹の「車よい」との関係、（D）「車よい」と健康状態、（E）「車よい」と「ブランコよい」との関係、などについて報告する。（なお本調査は過去に「車よい」を体験したもの、現在まで継続しているもの両者を含めての統計である。）

（A）症状の分類

一番つらい症状をみると第1表のとおりで、53%が嘔気をもよおし、ついで13%が嘔吐、胸苦しい・頭痛・あくびが出るがそれぞれ5%となっており、「車よい」では嘔気、嘔吐が主な症状となっている。

〔第1表〕 一番つらい症状 人(%)

症状	小学生	中学生	高校生	大学生	計
めまい	6(1.6)	9(2.5)	6(2.0)	4(2.1)	25(2.0)
嘔気	208(54.0)	168(47.7)	153(50.8)	119(60.7)	648(53.0)
臭いが鼻に	14(3.6)	15(4.3)	16(5.3)	5(2.6)	50(4.1)
頭痛	28(7.3)	16(4.5)	13(4.3)	12(6.1)	69(5.6)
頭が重い	11(2.9)	12(3.4)	12(4.0)	5(2.6)	40(3.2)
腹痛	4(1.0)	4(1.1)	2(0.6)	0	10(0.8)
胸苦しい	12(3.1)	26(7.4)	24(8.0)	8(4.1)	70(5.7)
耳なり	0	3(0.9)	1(0.3)	0	4
胃が重い	3(0.8)	10(2.8)	10(3.3)	2(1.0)	25(2.0)
悪寒	7(1.8)	7(2.0)	3(1.0)	1(0.5)	18(1.5)
嘔吐	58(15.1)	54(15.3)	26(8.6)	31(15.8)	169(13.7)
鼻血	1(0.3)	0	1(0.3)	0	2
脳貧血	5(1.3)	1(0.3)	2(0.6)	1(0.5)	9(0.8)
あくびが出る	21(5.5)	22(6.3)	18(6.0)	5(2.6)	66(5.3)
汗が出る	7(1.8)	5(1.4)	14(4.7)	3(1.5)	29(2.4)

なお、症状を自覚症状と他覚症状とに分けてみると自覚症状が77%をしめ、年齢による差はみられない。これは心理的な原因でおこるのか身体的な原因でおこるのかははっきりしないが、心理的な影響がかなり多いのではないかと考えられる。

〔第2表〕

症状	中学生以下	高校生以上	計
自覚症状	563(76.4)	396(79.7)	959(77.7)
他覚症状	174(23.6)	101(20.3)	275(22.3)

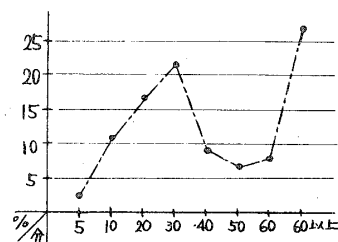
（B）「車よい」の発来時間

つぎに、よい始めの時間をみると第3表・第1図のとおりで、年齢の別なく60分以上でよい始めるというのが一番多く、ついで30分、20分、10分という順になっており、いずれの車種においても発来時間はほぼ同じである。

〔第3表〕 よいの発来時間 人(%)

時間	小学生	中学生	高校生	大学生	計
5分	6(2.0)	9(3.4)	5(2.2)	4(2.3)	24(2.5)
10分	18(6.0)	28(10.5)	35(15.4)	24(13.8)	105(10.8)
20分	48(15.9)	51(19.1)	32(14.0)	29(16.7)	160(16.5)
30分	60(19.9)	57(21.3)	38(16.7)	41(23.6)	196(20.2)
40分	33(10.9)	23(8.6)	19(8.3)	15(8.6)	90(9.3)
50分	26(8.6)	17(6.4)	15(6.6)	7(4.0)	65(6.6)
60分	29(9.6)	19(7.1)	20(8.8)	6(3.4)	74(7.6)
60分以上	82(27.1)	63(23.6)	64(28.1)	48(27.6)	257(26.4)

〔第1図〕



(C) 本人と両親兄弟姉妹の「車よい」
との関係

「車よい」のあるものとその家族(両親兄弟姉妹)との関係を分類すると、第4表のようになる。

〔第4表〕

人(%)

車よい 対象	小学生	中学生	高校生	大学生	計
父母兄弟姉妹とも	13 (3.7)	13 (4.3)	4 (1.6)	5 (2.7)	35 (3.2)
父 母 だけ	14 (4.0)	3 (1.0)	0	3 (1.6)	20 (1.9)
父と兄弟姉妹	12 (3.4)	9 (3.0)	12 (4.9)	3 (1.6)	36 (3.3)
母と兄弟姉妹	96 (27.4)	79 (26.2)	65 (26.8)	58 (31.2)	298 (27.6)
父 だけ	5 (1.4)	5 (1.7)	2 (0.8)	1 (0.5)	13 (1.2)
母 だけ	56 (16.0)	37 (12.3)	36 (14.8)	20 (10.8)	149 (13.8)
兄弟姉妹だけ	80 (22.8)	85 (28.2)	69 (28.4)	64 (34.4)	298 (27.6)
父母兄弟姉妹ともない	75 (21.4)	70 (23.3)	55 (22.6)	32 (17.2)	232 (21.5)

これによると、母親と兄弟姉妹、あるいは兄弟姉妹だけ「よう」というのが同じ27%で一番多く、ついで父母兄弟姉妹とも「よわない」が21%、母親だけ「よう」というのが13%という順になっている。つまり、「車よい」のあるものの母親及び兄弟姉妹には「車よい」が多いが、父親には殆んどみられないことがわかる。

(D) 「車よい」と健康状態との関係

健康度を、一応調査日より過去一年間の罹病経験の「有」、「無」として分類してみると、第5表のとおりで、約50%づつになっている。これによると「車よい」は健康状態の良悪に拘らずおこるものではないかと考えられる。

〔第5表〕「車よい」と健康状態との関係

人(%)

健康状態 対象	小学生	中学生	高校生	大学生	計
過去一年間に病気をした	206 (60.8)	141 (39.7)	134 (53.8)	86 (43.9)	567 (49.8)
過去一年間に病気をしない	133 (39.2)	214 (60.3)	115 (46.2)	110 (56.1)	572 (50.2)

(E) 「車よい」と「ブランコよい」と
の関係

「車よい」をするものの中で「ブランコよい」を体験したものをみると第6表になり、「ブランコよい」のないものが74%である。ゆえに、「車よい」をする中で「ブランコよい」するものは $\frac{1}{3}$ 以下であり、「ブランコよい」があることから「車よい」を予想して旅行などに消極的にならなくてもいいのではないだろうか。

〔第6表〕「車よい」と「ブランコよい」
との関係

人(%)

対象	小・中・高・大生合計
あったもの	268 (26.0)
ないもの	764 (74.0)

結 論

以上の調査成績を要約するとつぎのごとくである。

1. 「車よい」の症状は主に嘔気、嘔吐で、自覚症状が77%をしめている。
2. 「車よい」の発来時間は年齢・車種の差なく一時間以上がもっとも多い。
3. 「車よい」をもつものの母親・兄弟姉妹には「よい」が多いが、父親には殆んどみられない。
4. 「車よい」と健康状態の間には関係はみられない。
5. 「車よい」と「ブランコよい」との間には関係はみられない。